えんとつフェスティバル2008

10/11(土)

10時～15時

雨天の場合は、10月12日(日)に順延。
12日雨天の場合は中止。

☆ フリーマーケット(約30店舗)
☆ 模擬店(焼そば・わたあめ・ポップコーン・飲み物 他)
☆ 3市の福祉団体の出店
☆ えんとつ○×クイズ
☆ えんとつミニツアー(清掃工場の見学)
☆ ステージ(和太鼓、生バンドなどを予定)
☆ クイズラリー
☆ 参加団体毎のブース　その他

＊内容は、都合により変わることがあります。

「布物どっぐり」
美大生の芸術品

会　場：小平・村山・大和衛生組合
(小平市中島町2番1号)
東大和市駅または玉川上水駅徒歩10分

主　管：えんとつフェスティバル実行委員会
主　催：連絡協議会、小平、村山・大和衛生組合
後　援：小平市・東大和市、武蔵村山市

えんとつギャラリー　こたえ

写真は、4・5号焼却炉内に投棄されているごみクレーンです。
皆さんの家庭から出されたごみは、収集車で集められ、組合に搬入されますが、いったんごみピットに入ります。これを、ごみクレーンでつかんで吊り上げ、焼却炉に投入します。1回でつかむごみの量は約1トンです。軽トラック1台分の積載量を350キログラムとした場合、約3台分のごみをつかんで焼却炉に投入していることになります。この焼却炉では、多い日で日量約105トンのごみが焼却されますので、この場合、1日で100回以上も投入していることになります。

＊駐車場はありません。
＊徒歩、自転車、公共交通機関をご利用ください。
＊ペット類の入場はご遠慮願います。

VOICE　編集後記

今年の夏の注目はやはり北京オリンピック。日本も連日盛り上がっていました。中国と言えば、広告運動、などを連想する人も多いと思いますが、今回のオリンピックを通じて、選手だけでなく、応援する人、ボランティアで観光客を迎える人、などが直接触れ合い、相互に理解を深めることもできたのでは、ないでしょうか。

情報不足からくる誤解、偏った情報によって、誤解を生じ、不信感、不安感などを持つ、といったことは、国同士の関係だけでなく、日常生活においても見られます。相手の考えが分からないから疑心暗鬼になり、それが関係の悪化をさらに深化させる結果にもなります。

お互いを理解しあい関係をつくっていくためには、スポーツや文化活動などを通じて、直接話をしていく機会を持ち、交流を深めていくことも大事です。

衛生組合は、みなさんの日常生活を衛生的に保つために必要な施設ですが、他様の人が直接立ち寄る施設ではないため、親しみのある施設とは言えないかもしれません。そのため、組合では、情報の開示に努めるとともに、見学会や地域活動に参加し、組んでいます。

今年も、えんとつフェスティバルの開催が近づいています。北京オリンピックに負けないよう、多様な交流の場を目指しています。

乗乗　足をお運びください。

発行　小平・村山・大和衛生組合
〒187-0003 小平市中島町2番1号
電話　042-341-4345
平成20年9月　発行

小平・村山・大和衛生組合は、小平市、東大和市、武蔵村山市、3市の市民生活から出るごみを処理する清掃工場を管理運営する一部事務組合。(特別地方公共団体)です。

再生紙を使用しています。
この紙は、リサイクルできます。清潔に再利用してください。

組合のホームページアドレス http://wwww5.ocn.ne.jp/~kmyeisei/

小平・村山・大和衛生組合

えんとつ

No.23

小平・村山・大和衛生組合は、3市のごみを処理している清掃工場です。

10/11(土) えんとつフェスティバル2008開催

《No.23 主な内容》

- 「3市共同資源化事業」皆さんのご意見を募集中
- 組織市3市の資源化、どこが違うの？
- 人口とごみ搬入量の推移

えんとつギャラリー

「自動車？ロボット？…これ、なに？」

※答えは4ページ目の下段にあります。

小平市、東大和市及び武蔵村山市の3市共同資源化事業の具体化に向けて

市民の意見を募集しています。

＜募集する意見の内容＞

3市共同資源化事業のあり方について「3市共同資源化推進市民懇談会」では、これまでの会議で、5つの重点課題が整理されています。皆様のご意見はこの重点課題(右記)に沿ってお願いします。

ご意見には、氏名とお住まいになっている市の名前を記入してください。寄せられたご意見は、「市民懇談会」に報告するとともに、今後の参考とさせていただきます。

◆提出方法：お手紙、ファクシミリまたはEメールにて
◆提 出 先：住所　〒187-0033　小平市中島町2番1号
電話　042-341-4345
FAX　042-343-5374
Eメール　kmy@ceres.ocn.ne.jp
小平・村山・大和衛生組合　計画課宛
◆提出期限：平成20年10月15日まで

これまでの会議で浮き彫りになった＜5つの重点課題＞

Ⅰ　循環型社会構築に向けた社会のあり方
（3Rの優先順位、市民参画、市民意識の向上）
Ⅱ　3Rに即した事業者の責任
（容器包装のあり方、生産者責任）
Ⅲ　3Rの実現に向けた市民と行政の協働
（減量・資源化施策、情報提供、環境学習）
Ⅳ　3Rの拡大に向けた適切な分別・収集方法
（分別区分、排出ルール、行政収集、各々目の回収）
Ⅴ　3Rの受け皿となる施設のあり方
（資源化の統一、施設の最適化、3市及び組合の施設整備）
※3Rとは
ごみをつくらず（発生抑制＝Reduce）、使えるものは繰り返し使い（再使用＝Reuse）、いらなくなったものは資源としてリサイクル（再利用＝Recycle）する運動をいいます。英文字の3つのRをとって「3R」と呼ばれています。

ごみの資源化事業の現状と将来

ごみ の処理や資源化事業は、私たちの衛生的な生活環境を守るため、リサイクル施設、ごみ焼却施設及びエコセメント化施設など、様々な施設を整備・活用して行われています。また、ごみの資源化事業は、3市それぞれ実施していますが、これまでのように3市が独自に進めるより、共同で取り組むことにメリットが見出せます。

共同 で資源化事業を展開し、望ましい循環型社会を構築するためには、家庭から排出される不要物の発生の抑制や統一した資源化への取組など、3市の中長期的な取組の方向性を明らかにしなければなりません。

● これまでの検討経過

＜3市と衛生組合の課題＞

小平市・東大和市・武蔵村山市
⇒増え続けるプラスチックなど資源物の処理が課題

小平・村山・大和衛生組合
⇒老朽化した粗大ごみ処理施設の更新が課題

3市共同資源化等に関する調査の実施（平成18年度）

●調査の目的：3市共同資源化施設（3市リサイクル施設及び不燃・粗大ごみ処理施設の機能を併せもつ施設）の具体策を立案すると同時に、3市における循環型社会形成に関する将来のあるべき姿という長期的な展望と中期的なごみ処理システムを明らかにする。
●報告書の概要：ハード面では、東大和市用地に資源6品目の処理施設とプラザ機能を整備する。施設は地下1階、地上3階、高層化、緑が管理面に課題。不燃・粗大ごみ処理施設は2つの配置案が示されるが、いずれの場合も小平市清掃事務所用地を借用する必要がある。
※ 報告書の詳細は、組合ホームページをご覧ください。

長期的・計画的な事業の推進

3市共同資源化推進本部での 検討

3市と衛生組合は、「3市共同資源化事業」の具体化に向け検討しています。ごみ処理事業を適正に行うことはもちろんですが、ごみや資源の処理は、地球的規模の環境問題のひとつとして捉えられており、「低炭素型社会」や「自然共生社会」との調和など、総合的な視点に立って、長期的・計画的に推進することが求められています。

平成20年度

市民の立場から「共同資源化のあり方」に対する意見のとりまとめ

3市共同資源化推進市民懇談会の所掌事項
①3市の資源化基準の統一に関すること
②循環型社会に向けた普及・啓発事業に関すること
③資源物処理施設、不燃・粗大ごみ処理施設のあり方に関すること

情報提供
今回募集する
市民意見

10年後、20年後どうなるの？
ごみの発生抑制、資源化、
施設の整備・更新はどうする？

処理する立場から「共同資源化」の具体化の検討

3市共同資源化推進本部専門部会の 検討項目
＜共同資源化検討部会＞
①リデュース・リユース策の想定効果
②プラスチック類の扱いについて
③3R施策の提案
④資源物処理機能の検討
＜不燃・粗大ごみ処理検討部会＞
①3市資源化基準の統一
②整備すべき施設の概要及び経費
資源物処理施設、不燃・粗大ごみ処理施設

市民懇談会報告書

「市民懇談会報告書」は公表されます。

平成21年度 計画

（仮称）3市共同資源化基本構想（案）

市民意見の反映（パブリックコメント）

「（仮称）3市共同資源化基本構想（案）」は公表され、3市市民のご意見を伺います。

（仮称）3市共同資源化基本構想

3市で共同資源化のあり方を検討し、市民とともに望ましい循環型社会を推進

ソフト施策（共同3R施策等）の取りまとめ

3市共同資源化の基本事項の設定
①統一された資源化基準
②共同で行う3R施策
③共同で行う普及・啓発事業
④スケジュール

ハード施策（施設整備事業）の取りまとめ

施設整備に係る基本事項の設定
①施設整備に係る計画期間
②資源化事業の基本的な方向
③目標の設定
④施設の概要　（機能、規模、配置、概算事業費）

組織市3市の資源化、どこが違うの？

組織市3市の資源化の現状は、どうなっているのでしょう。日常生活の中で、いろいろなプラスチックが使われていますが、そのうち一番多い容器包装プラスチックを例にとってみます。

【容器包装プラスチックリサイクル対象物（例）一覧】

		小平市	東大和市	武蔵村山市
ボトル状のもの	シャンプー・洗剤・化粧品のボトル、ドレッシングのボトルなど	資源（ソースの容器は不燃）	不燃（モデル地区は資源）	資源
パック・カップ状のもの	卵のパック、プリンやヨーグルトの容器、弁当・惣菜の容器、カップ麺の容器など	資源（カップ麺の容器は不燃）	不燃（モデル地区は資源）	資源
トレイ・発泡スチロール	肉などの色付きトレイ・白色発泡スチロールなど ※精肉などの白色トレイは3市とも重点回収で資源	資源（発泡スチロールは不燃）	不燃（モデル地区は資源）	資源
ネット・ケース状のもの	マーガリンなどの容器、みかんやたまねぎのネット、果物(桃・りんごなど)の弱きスチロール製のネットなど	資源（桃等のネットは可燃）	不燃（モデル地区は資源）	資源
袋類	カップ麺の具やスープの袋、菓子類や日用品の外装、アメなどの包装、レトルト食品のアルミコーティング袋など	可燃	不燃（モデル地区は資源）	資源
フィルム・ラップ類	ティッシュの取り出し口、洗剤のフィルム、カップ麺やタバコ、キャラメルなどの包装フィルムなど	可燃（汚れが目の包装シートは不燃）	不燃（モデル地区は資源）	資源
チューブ類	マヨネーズ・ケチャップ・歯磨きなどのチューブ状の容器	不燃	不燃（モデル地区は資源）	資源

武蔵村山市では、平成13年度から容器包装プラスチックは「資源」として収集しています。ただし汚れたものは「可燃」です。小平市では、フィルム・ラップ類の軟質系のプラスチックは「可燃」で収集し、組合に入ってきます。汚れたものは「不燃」です。東大和市では、約1割の世帯をモデル地区とし、資源化を図っています。その他の地区では「不燃」として、組合に入ってきます。21年度から、全市域での資源化が計画されています。

プラスチックの中で、特に重量に多く出るペットボトルは、3市で資源化を図っていますが、キャップについては、武蔵村山市で「資源」、小平市では「不燃」、東大和市では「不燃」（モデル地区では「資源」）となっています。

一方、資源の出し方も3市で異なっています。

小平市・武蔵村山市では袋収集、東大和市ではコンテナ収集（びん・缶・ペットボトル）となっています。

容器包装プラスチックって？

商品を購入したときに、プラスチック製の容器または包装物としてついてくるものをいい、商品が消費されたり、商品と分離されたり場合に不要となるものが対象です。

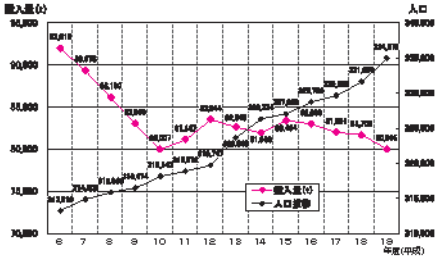
《 人口とごみ搬入量の推移 》

このグラフは、平成6年度からの組織市3市の人口と組合に搬入されたごみ量の推移を表したものです。

平成6年度は、人口が約31万3千人、搬入ごみ量が約9万2千トンでした。その後、人口は年々増加していますが、組合に搬入されるごみ量は減少し、平成19年度では、人口が約33万5千人、搬入ごみ量が約8万トンとなりました。

これは、皆さんがごみ減量や分別によるリサイクルを進めてきた結果であると考えられます。

今後、さらなる減量化・資源化を進めていくためには、分別方法の統一や施設整備なども必要になってきます。



◆ 小金井市の可燃ごみを受入れています

小金井市などのごみを処理していた二枚橋衛生組合のごみ処理施設は、老朽化のために平成19年3月末に焼却炉を停止しました。小金井市は、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱に基づいて、国分寺市をはじめとする多摩地域の自治体や一部事務組合に、ごみ処理の支援を要請しています。

当組合にも、主たる支援先の焼却炉の定期補修や点検時における支援の要請があり、平成19年4月から可燃ごみの受入を行っています。小金井市からの搬入量は、表のとおりです。

●平成19年度搬入量　1,808.34トン
●平成20年度

月	搬入量（トン）
4月	―
5月	―
6月	196.64
7月	203.18
8月	196.08

◆ 皆さんの清掃工場を見学してみませんか？

3市の市民は、ごみを排出することによって、間接的にごみ処理や資源化施設の「利用者」となっています。また、これらの事業の経費が税金で賄われていることから「費用負担者」との立場もあります。このように、私たち市民は、ごみ処理事業に深く関係しています。

見学会は、原則として3市に在住、在勤の方を対象に、火曜日から金曜日の午前中に行っています。見学を希望される方は、事前に下記申し込み先までご連絡ください。

●申込先：衛生組合総務課（☎042－341－4345）

■平成19年度の見学実績（平成19年4月～平成20年3月）

	小平市		武蔵村山市		東大和市		その他		合　計	
	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
小学生	871	11	250	3	490	6			1,611	20
一般	198	13	63	4	200	7	56	5	517	29
合計	1,069	24	313	7	690	13	56	5	2,128	49

平成19年度 情報公開の状況

請求件数	8件
公　開	8件
一部公開	0件
非公開	0件
不存在	0件
公開率	100%

◎ごみの減量や出し方について…小平市ごみ減量対策課　☎042－346－9535（直通）／東大和市ごみ減量課　☎042－563－2111（代表）／武蔵村山市環境課　☎042－565－1111（代表）　◎ごみ処理施設の見学や質問について…小平・村山・大和衛生組合　☎042－341－4345

M＋K